

※ご使用前にこの説明書を良くお読みになり十分に理解してください。



組立／取扱説明書



150mmサイズ 電動インドア3Dヘリシリーズ

FBL100

レディセット

目次

1. 安全のための注意事項	1 ~ 4
2. セット内容	4
3. 本製品の特徴	5
4. 飛行前の準備	5 ~ 9
5. X-6S送信機の各種設定方法	10 ~ 24
6. 故障かな...	25
● 分解図	28
● パーツリスト	29
● スペアパーツの購入方法	30

組立て・飛行の前に必ずお読みください。



警告マーク：生命や身体に重大な被害が発生する可能性がある危険を示します。



禁止マーク：事故や故障の原因となるため、やってはいけないことを示します。



- この商品は高い性能を発揮するように設計されています。組立てに不慣れな方は、模型を良く知っている人にアドバイスを受けて確実に組立ててください。
- 小さい部品があるので、組立て作業は幼児の手がとどかない所で必ずおこなってください。
- 動かして楽しむ場所は、万が一の事故を考えて安全を確認してから、責任をもってお楽しみください。
- この商品は14才以上を対象に設計しています。玩具ではありません。
- 小さな部品や、とがった部品がありますので、十分注意してください。また、小さなお子様のいる場所での作業・保管はさけてください。
- 電池は指定の電池を使用し、逆接続・分解は絶対にしないでください。発熱や破損の原因となり大変危険です。
- ケガの恐れがありますのでカッターやニッパー、ドライバーなどの工具の取り扱いには十分注意してください。
- ケガの恐れがありますので回転部分に指や手をはさまないでください。
- 飛行中や飛行後はバッテリーやモーターが発熱することがあります。危険ですので十分に冷えてから触るようにしてください。
- ヘリコプターの動きがおかしい時は、飛行を中止して原因を調べる。
- 風が吹いている所では飛行はしない。
- 飛行させる際は、ゴーグルを着用してください。
- 飛行後や飛行させない時は必ず機体のバッテリーを外して、送信機の電源スイッチをOFFにし乾電池を外してください。誤動作や電池の発熱・液漏れなどの危険があります。
- 充電中は、リチウムポリマーバッテリー、充電器ともに発熱するので燃えやすい物の上での充電は火災等、事故の恐れがありますのでおやめください。
- 飛行させる際は、2m以上離れてください。

対象年齢

14才
以上



・不要になったリチウムポリマーバッテリーは、貴重な資源を守るために廃棄しないでリサイクル協力店へお持ちください。



- 安全に配慮して飛行場所を選んでください。下記のような場所では飛行しないでください。
 - 1.子供の遊び場や、RCが禁止されている公園では飛行させないでください。
 - 2.飛行範囲に人、特に子供がいる場所では飛行させないでください。
 - 3.交通量の多い道路、鉄道、飛行場、高圧線、鉄塔などの近くでは飛行させないでください。



- 送信機や受信機、サーボは精密な電子部品です。故障の原因となるので水に濡らさないでください。
- 変形や傷ついたメイン・テールローターは使用しないでください。
- メインローターが回転中の機体には絶対に見物の人を近付けないでください。
- 故障や破損、変型の原因となるため高温・多湿の場所での長期保管はしないでください。
- リチウムポリマーバッテリーは破裂すると非常に危険ですので絶対に火中に投げ入れないでください。
- 純正の充電器以外での充電は、絶対におやめください。
- ショートによる火災事故のおそれがあるのでリチウムポリマーバッテリーの分解、改造は絶対にしないでください。
- 充電中は、充電器のそばを離れないでください。
- 直射日光の下など高温になる場所では、充電しないでください。
- 傷ついたり、変形したバッテリーは絶対に充電しない。火災などの重大な事故の原因になります。
- 送信機は乳幼児の手の届かないところで使用、保管してください。
- 送信機は、落としたり、大きなショックを与えないでください。
- 純正パーツ以外の組み込みや機体の改造はしないでください。故障の原因となります。

X-6Sプロボを安全に使用するための注意

2.4GHzシステム使用上の注意

- X-6Sは2.4GHz帯周波数を使用し、混信防止機能を備えていますが、万が一の事を考えて周囲の安全を確認してください。
- 2.4GHzはR/C以外の機器にも使用されています。電子レンジ、無線LAN、Bluetooth、デジタルコードレス電話、ISMバンドなどに使用されているので都市部ではプロボの動作に影響が出る場合があります。使用する際は周囲の環境に注意し、必ず動作確認を行い安全を確認してから飛行させてください。
- 下記の場所では電波が機器に影響を及ぼすおそれがあるので使用しないでください。
 - 1:航空機内
 - 2:自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近く
 - 3:病院内や医療用電気機器の近く

- 同一飛行場内では同時に使用する2.4GHzプロポの台数は15台以内にしてください。
- 樹木や壁など遮へい物が有ると操縦不能になる場合があります。必ず目視出来る場所で飛行させてください。
- 日本国内では電波法に基づく工事設計番号を記載した認証ラベルが貼られているプロポのみ使用できますので、送信機のラベルをはがさないでください。
- X-6Sは電波法に基づく工事設計認証試験を受け、本体ケースを封印しています。封印を開けて改造した場合、電波法違反になるので封印を開けないでください。
- X-6Sの電波到達距離は地上で50mで設計されています。その範囲内で飛行してください。
- 気温0～40°の範囲で使用してください。

2.4GHz送信機操作上の注意

- 送信機のアンテナは指向性が高く電波が弱くなる方向があります。アンテナの先端が向いている方向が最も電波が弱くなりますのでアンテナを機体に向けないでください。
- 送信機のアンテナを持ったり金属クリップをつけないでください。

2.4GHz受信機搭載時の注意

- 受信機のアンテナは切断したりハンダ付けで延長しないでください。

2 セット内容

	内容	数量		内容	数量
1	ヘリコプター	1	9	スペアビス	1 セット
2	X-6S 送信機	1	10	サーボリンクージロッド (エルロン/エレベーター)	2
3	USB充電ケーブル	1	11	サーボリンクージロッド (ピッチ)	1
4	充電器	1	12	ヘッドリンクージ	2
5	充電用変換ケーブル	2	13	ボディ用スペアグロメット	4
6	Li-Poバッテリー 3.7V300mA 30C	2	14	スペアメインローター	2
7	プラスドライバー	1	15	スペアテールローター	1
8	1.5mm六角レンチ	1			

- ▶ FBL100は、フライバーレス仕様の高性能超小型ヘリです。
高精度な3軸ジャイロを搭載しているので非常に高い安定性を確保しながら確実にクイックなコントロールフィーリングを体感できます。

スペック

全長	238mm
全高	96mm
重量	約50g
メインローター径	249mm
テールローター径	36mm
バッテリー	3.7V 300mAh
飛行時間	約4～5分

バッテリーの充電（USB LiPoツインチャージャーの使用方法）

- 1 USB充電ケーブルをチャージャーにつなぐ
- 2 USB充電ケーブルのもう片方をPCのUSBポートなどにつなぐ
- 3 LEDが緑に点灯
- 4 極性に注意してバッテリー変換ケーブルを充電器につなぐ
- 5 極性に注意して変換ケーブルのもう一方をバッテリーにつなぐ
- 6 LEDが赤に変わり充電開始
- 7 LEDが緑に変わったら充電完了
- 8 このチャージャーは、LiPoバッテリーを2本同時に充電できます。
- 9 充電が完了したら、LiPoバッテリーを外してください。



- ▶ 純正以外のケーブル類を使用しないでください。
- ▶ 充電が終わったらすぐにLiPoバッテリーと、USB充電ケーブルを外してください。
- ▶ 充電中に異常を感じたらただちに充電をやめ、LiPoバッテリーを外してください。



LiPoバッテリー低電圧時の注意

- ▶ LiPoバッテリーは3.0V以下まで放電すると過放電になり、破損するおそれがあります。出力が弱くなったと感じたら、早めに機体を着陸させてLiPoバッテリーが冷めたら充電してください。
- ▶ 飛行後は、必ずLiPoバッテリーを機体から外してください。
- ▶ バッテリーを長期間使用しないときは、充電してから保管してください。放電したまま長期間保管すると自然放電によって過放電となりLiPoバッテリーが破損してしまうおそれがあります。

飛行前の確認

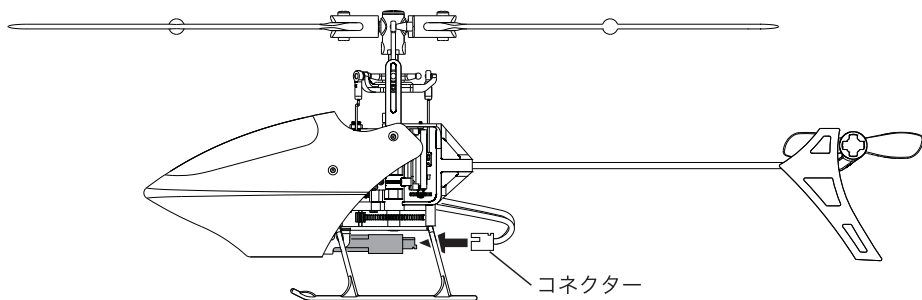
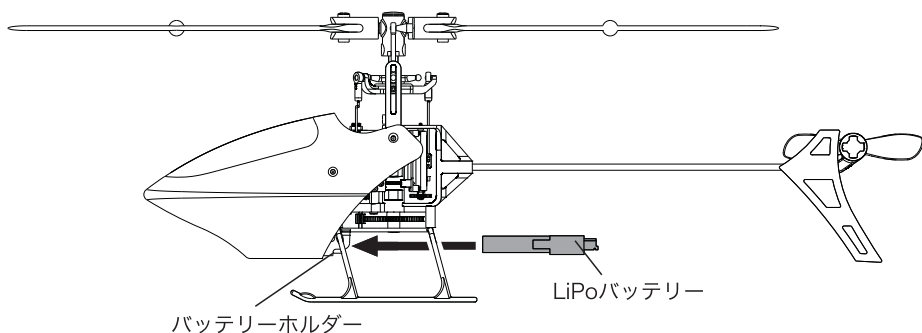
- 1 送信機および機体のLiPoバッテリー残量が充分か確認する
- 2 送信機のスイッチを入れる前に、スロットルスティックが一番下になっている事を確認する（写真3）
- 3 送信機のスイッチを入れる前に、TH.HOLDとIDLEスイッチが送信機背面側になっているか確認する（写真1、2）
- 4 送信機と機体が登録（バインディング）されているか確認し、もしバインディングされていない場合は8ページの方法でバインディングを行ってください。
- 5 必ず送信機のスイッチを先に入れてから機体にLiPoバッテリーをつないでください。スイッチを切る時はLiPoバッテリーを外してから送信機のスイッチを切ってください。



- ▶ 慣れるまでは、D/Rスイッチを下側にして飛行してください。

バッテリーの取付け

- 1 送信機の背面のフタを外して単三アルカリ乾電池4本を極性を間違えないように入れる。
- 2 送信機のスロットルを一番下にする。
- 3 送信機のスイッチを入れる。
- 4 機体後方からLiPoバッテリーをバッテリーホルダーに差込み、コネクターをつなぐ。



- 5 機体を水平に保つ。
- 6 数秒後、サーボが自動で動き、ニュートラル状態になって飛行準備完了。

機体の登録（バインディング）方法

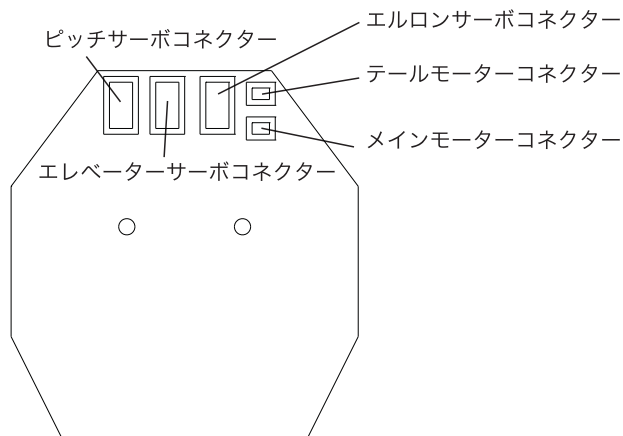
- ▶ 本製品は工場出荷時にバインディング済みです。
再度バインディングするときは下記手順でバインディングしてください。

- 1 送信機のスイッチを入れる。
- 2 安定させた状態で機体にバッテリーをつなぐ。
- 3 そのまま数秒待つとサーボが数回動き、ニュートラル位置に戻ります。その後バインディングが完了し機体を操作できます。
- 4 バインディング時に他の機体が近くに無い事を確認してください。2台以上の機体を同時にバインディングする事は出来ません。



- 1 TH.HOLDスイッチの位置が正しくないと液晶に“THRO HOLD”と表示され操作が出来ません。その場合は、TH.HOLDスイッチの位置を“0”にしてください。
- 2 IDLEスイッチの位置が正しくないと液晶に“IDLE ON”と表示され操作が出来ません。その場合は、IDLEスイッチの位置を“N”にしてください。
- 3 スロットルスティックの位置が正しくないと液晶に“THRO STICK”と表示され操作が出来ません。その場合はスロットルスティックを一番下に下げてください。

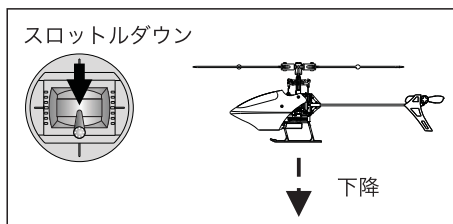
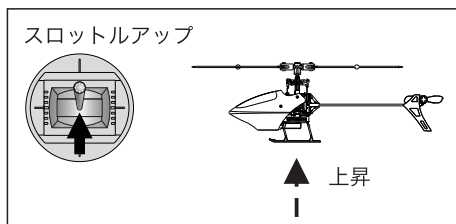
受信機コネクター



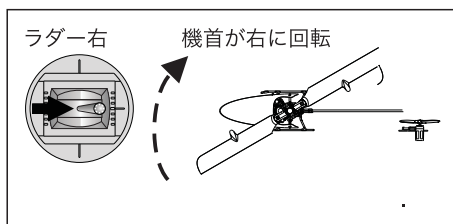
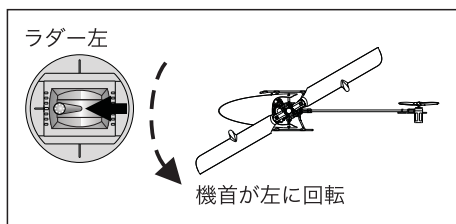
プロポの操作と機体の動き

- ▶ プロポの操作と機体の動きを十分に理解してから飛行してください。
この機体を飛行するには、高度なテクニックが必要です。

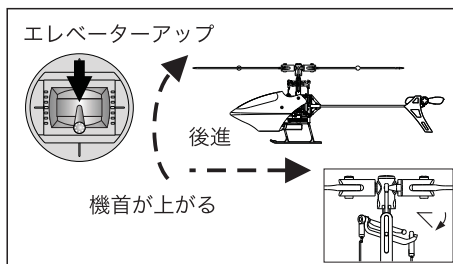
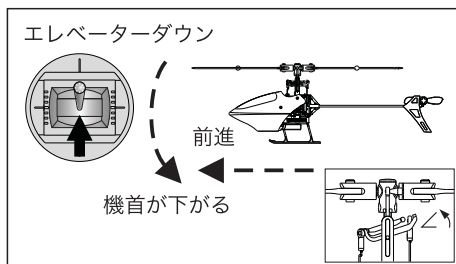
●スロットル



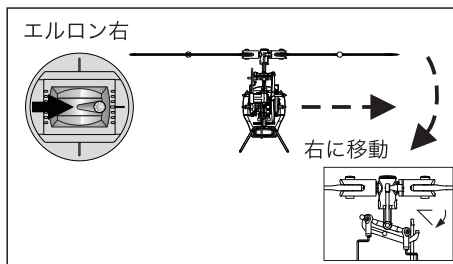
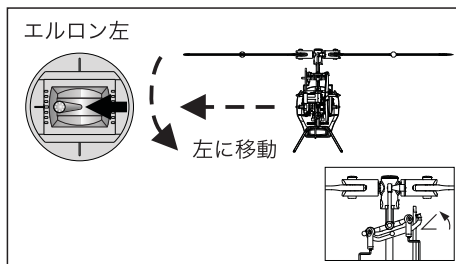
●ラダー



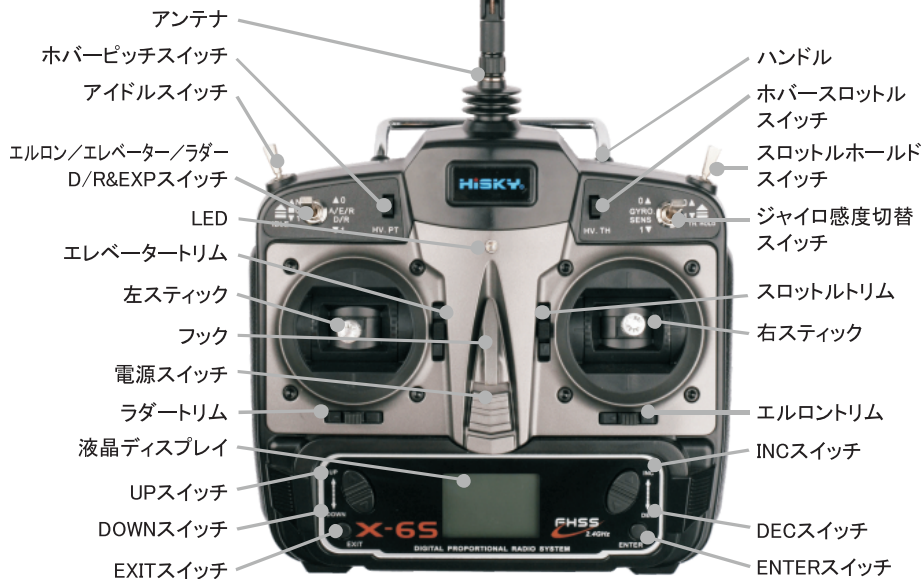
●エレベーター



●エルロン



各部名称



機能

- 1 : ピッチニュートラルトリム
- 2 : 2.4GHz FHSS方式 6チャンネルシステム
- 3 : 3Dフライトモード: ノーマルモード/アイドル1/アイドル2(アイドルモード時)
- 4 : エルロン、エレベーター、ラダーD/R&EXPスイッチ
- 5 : ジャイロ感度切替スイッチ
- 6 : チャンネルニュートラルポジションセッティング機能
- 7 : チャンネルリバース機能
- 8 : サーボ舵角調整機能
- 9 : 6モデルデータメモリー
- 10: ローバッテリーアラーム(4V以下で作動)

ディスプレイ



スイッチオン時のチェック



<LED>

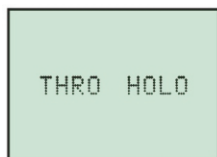
- ▶ ブルーに点灯すれば使用可能です。
バッテリー電圧が4V以下になるとLEDが点滅するので、すぐに新品の単三アルカリ乾電池に交換してください。



<液晶表示>

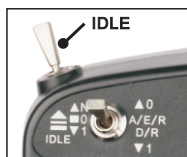
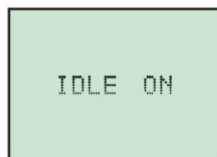
- ▶ TH.HOLDスイッチの位置が正しくないと液晶に“THRO HOLD”と表示され操作が出来ません。その場合は、TH.HOLDスイッチの位置を“0”にしてください。

- ▶ スロットルホールドスイッチを“0”にする



- ▶ IDLEスイッチの位置が正しくないと液晶に“IDLE ON”と表示され操作が出来ません。その場合は、IDLEスイッチの位置を“N”にしてください。

- ▶ IDLEスイッチの位置を“N”にする。



- ▶ スロットルスティックの位置が正しくないと液晶に“THRO STICK”と表示され操作が出来ません。その場合はスロットルスティックを一番下に下げてください。



メニュー

※本説明書はヘリモードのみの説明です。

- ▶ スイッチオン後、UP/DOWNスイッチで2種類のメニューを選択できます。

<FUN(ファンクション)メニュー>

D/R
SUB.TRIM
TRAVEL
CH.REV
SWASH.MIX
GYRO.SEN
THRO.CURV
MONITOR
PIT.CURV
THRO.HOLD

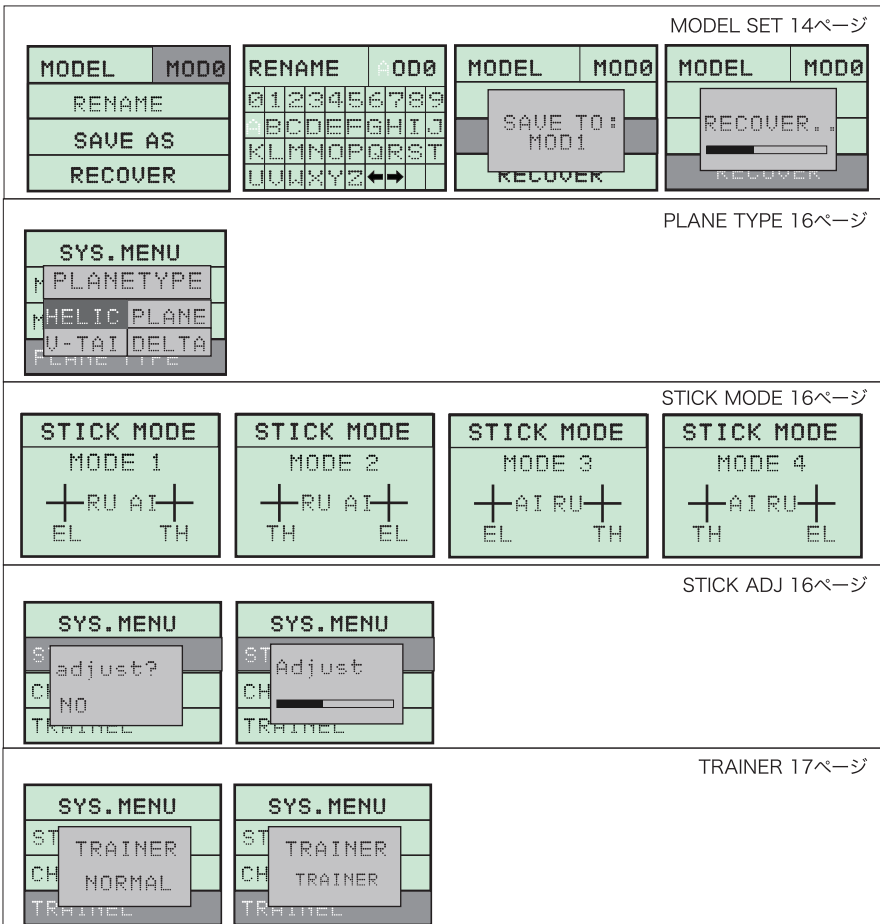
<SYS(システム)メニュー>

MODEL.SET
PLANETYPE
STICKMODE
STICK ADJ
TRAINER
TIMER SET

SYS(システム)メニュー

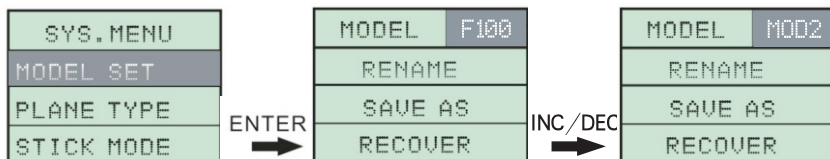
- ▶ スイッチオン後、“DOWN”スイッチを押し、“SYS MENU”を選択して“ENTER”スイッチを押すと“SYS.MENU”画面に移ります。

<表示一覧>



MODEL SET

► モデルの各種設定を行ないます。



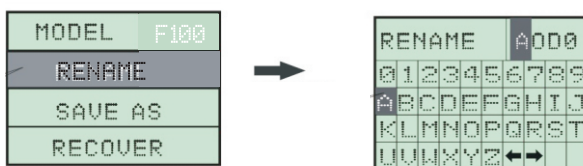
- 1 “SYS.MENU”から“UP/DOWN”スイッチで“MODEL.SET”を選択して“ENTER”スイッチを押して“MODEL.SET”モードに入ります。
- 2 機種選択（本説明書では、FBL80とFBL100のみ説明しています。）
“MODEL.SET”モード画面で“INC/DEC”スイッチで機種を選択し、“ENTER”スイッチを押すと、RELOADして機種選択が完了します。
（FBL80→FB80、FBL100→F100）
- 3 “EXIT”スイッチを2回押すと通常画面に戻ります。



間違った機種を選択すると正しくコントロールできませんので注意してください。

RENAME

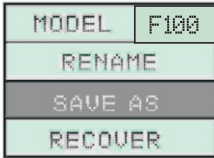
► モデル名を変更します。



- 1 “MODEL.SET”モード画面で“UP/DOWN”スイッチで“RENAME”を選択し、“ENTER”スイッチを押すと、入力画面に移ります。
- 2 送信機の左スティックで文字を選択し、“ENTER”スイッチで決定します。1文字完了したら次の文字に移ります。
- 3 文字の修正をする場合は、送信機の左スティックで←→を選択して“ENTER”スイッチを押して修正したい文字にカーソルを移動します。
- 4 送信機の左スティックで文字を選択し、“ENTER”スイッチで決定します。
- 5 “EXIT”スイッチを3回押すと通常画面に戻ります。

SAVE AS

▶ モデル名設定を保存します。



“ENTER”

- 1 “MODEL.SET”モード画面で“UP/DOWN”スイッチで“SAVE AS”を選択し、“ENTER”スイッチを押すと設定を保存する機種を選択する画面が表示されます。
- 2 “UP/DOWN”スイッチで設定を保存する機種名（モデル名）を選択して“ENTER”スイッチを押します。
- 3 “EXIT”スイッチを3回押すと通常画面に戻ります。



選択した機種名に設定が上書きされますので注意してください。

RECOVER

▶ 初期設定に復元します。



“ENTER”

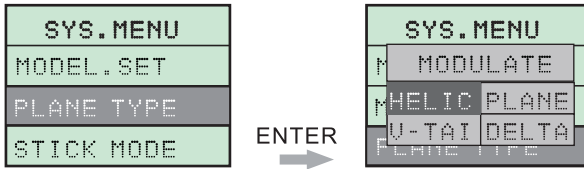
- 1 “MODEL.SET”モード画面で “UP/DOWN”スイッチで“RECOVER”を選択し、“ENTER”スイッチを押すとモデルの設定が初期設定に復元されます。
- 2 “EXIT”スイッチを2回押すと通常画面に戻ります。



初期設定に復元すると今まで変更した設定は全て消えますのでご注意ください。

PLANE TYPE

▶ 機体タイプを選択します。



- 1 “SYS.MENU”から“UP/DOWN”スイッチで“PLANE TYPE”を選択し、“ENTER”スイッチを押して“PLANE TYPE”モードに入ります。
- 2 “UP/DOWN”スイッチで“HELIC”を選択し、“ENTER”スイッチを押すとタイプが変更されて“SYS.MENU”に戻ります。
- 3 “EXIT”スイッチを1回押すと通常画面に戻ります。

STICK MODE

▶ スティックモードを変更します。

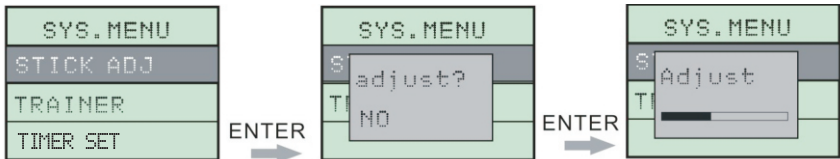


本製品では、モード1のみ使用できます。
他のモードに変更しないでください。

- 1 “SYS.MENU”から“UP/DOWN”スイッチで“STICK MODE”を選択し、“ENTER”スイッチを押して“STICK MODE”モードに入ります。

STICK ADJ

▶ スティックのニュートラル位置を設定します。



- 1 “SYS.MENU”から“UP/DOWN”スイッチで“STICK ADJ”を選択し、“ENTER”スイッチを押して“STICK MODE”モードに入ります。
- 2 送信機の左右のスティックと、4つのトリムを全てニュートラル位置にする。
- 3 “UP/DOWN”スイッチで“YES”を選択し、“ENTER”スイッチを押すとピープ音が1回鳴って設定完了。
- 4 “EXIT”スイッチを1回押すと通常画面に戻ります。

TRAINER

▶ ノーマルとトレーナー（シミュレーター）モードを切替えます。



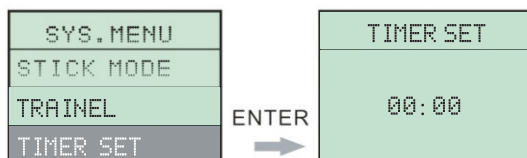
“SYS.MENU”から“UP/DOWN”スイッチで“TRAINER”を選択し、“ENTER”スイッチを押して“TRAINER”モードに入ります。



本製品にはシミュレーターは付属しません。
NORMALのみ使用してください。

TIMER SET

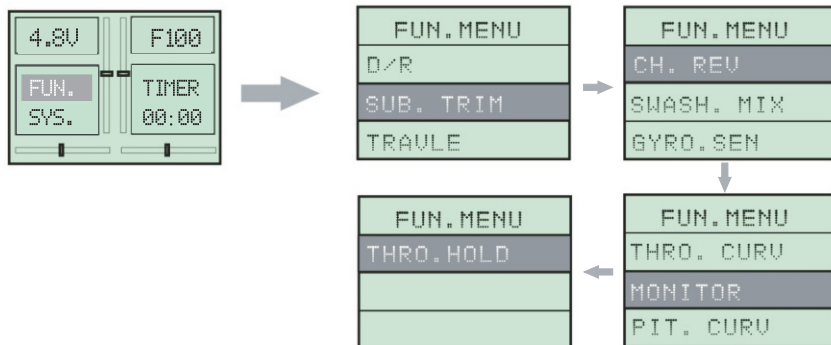
▶ タイマーを設定します。



- 1 “SYS.MENU”から“UP/DOWN”スイッチで“TIMER SET”を選択し、“ENTER”スイッチを押して“TIMER SET”モードに入ります。
- 2 UP/DOWNで分/秒を切り替え、“INC/DEC”スイッチで数字を変更します。
- 3 “EXIT”スイッチを2回押すと通常画面に戻ります。
- 4 通常画面で“INC”スイッチを押すとタイマーがスタートし、設定した時間に近づくと20秒前から2秒間隔、10秒前から1秒間隔でピープ音のカウントダウンをします。
- 5 “DEC”スイッチでタイマーをリセットします。

FUN(ファンクション)メニュー

- ▶ スイッチオン後、“ENTER”スイッチを押すと“FUN.MENU”画面に移ります。



D/R	AILE0
E 0	
R 100	
I 0	
O 0	

D/R	ELEV0
E 0	
R 100	
I 0	
O 0	

D/R	RUDD0
E 0	
R 100	
I 0	
O 0	

D/R&EXP 20ページ

SUB. TRIM	
AILE	0
ELEV	0
THRO	0

SUB. TRIM	
RUDD	0
GEAR	0
PITH	0

SUB TRIM 21ページ

TRAVEL	
AILE	100
ELEV	100
THRO	100

TRAVEL	
RUDD	100
GEAR	100
PITH	100

TRAVEL 21ページ

REV. SW						
CH	1	2	3	4	5	6
REV	■					
NOR	■	■	■	■	■	■

CH. REV 21ページ

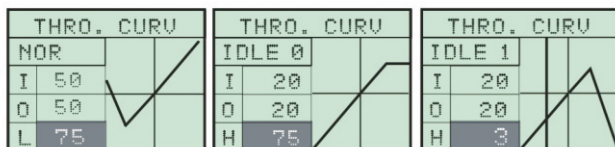
SWASH MIX 22ページ

SWASH. MIX	
AILE	-50
PITH	-50
ELEV	-50

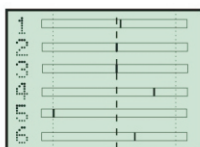
GYRO. SENS 22ページ

GYRO. SENS	
POS0	-100
POS1	100

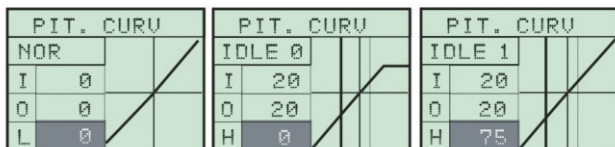
THRO. CURV 23ページ



MONITOR 23ページ



PIT. CURV 24ページ



THRO. HOLD 24ページ

THRO. HOLD	
SW	ON
VALUE	-20%

D/R

► エルロン、エレベーター、ラダーのD/R(デュアルレート)とEXP(エクスポネンシャル)を設定します。

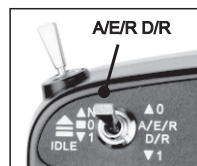
FUN.MENU	DR	AILO0	DR	AILO0	DR	AILO1
D/R	E 0		E 0		E 0	
SUB.TRIM	R 100		R 100		R 100	
TRAILE	I 0		I 0		I 0	
	O 0		O 0		O 0	

エルロン

EXPの設定値
D/Rの設定値
スティックの位置
舵の動作量

D/R	AILO0
E 0	
R 100	
I 0	
O 0	

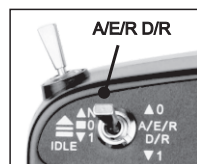
D/R&EXP
スイッチ"0"
の表示



↓ "ENTER"スイッチでチャンネル変更

エレベーター

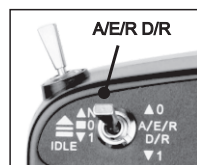
D/R	ELEV0
E 0	
R 100	
I 0	
O 0	



↓ "ENTER"スイッチでチャンネル変更

ラダー

D/R	RUDD0
E 0	
R 100	
I 0	
O 0	



1 "FUN.MENU"から"UP/DOWN"スイッチで"D/R"を選択して"ENTER"スイッチを押して"D/R"モードに入ります。

2 送信機のD/Rスイッチを"0"または"1"のいずれか、設定したい位置に合わせます。
画面右上の表示の右端の数字がD/Rスイッチの位置を表示します。

3 "ENTER"スイッチで設定するチャンネルを選択します。

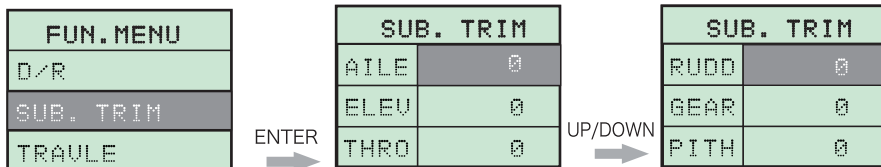
4 "UP/DOWN"スイッチで"E"(エクスポネンシャル)か"R"(デュアルレート)を選択します。
Eの数値が大きいほど初期反応がクイックになります。(−100から100まで調整可)
Rの数値が大きいほど舵角が増えてクイックになります。(0から100まで調整可)

5 "EXIT"スイッチを押すと設定が保存されて"FUN.MENU"画面に戻ります。

※通常は、D/Rスイッチが"0"で舵がクイックになり、"1"でマイルドになる様に設定します。

SUB TRIM

▶ 各チャンネルのトリムセンターの位置を補正します。



- 1 “FUN.MENU”から“UP/DOWN”スイッチで“SUB.TRIM”を選択して“ENTER”スイッチを押して“SUB.TRIM”モードに入ります。
- 2 “UP/DOWN”スイッチで設定するチャンネルを選択して“INC/DEC”スイッチで数値を設定します。
- 3 “EXIT”スイッチを押すと設定が保存されて“FUN.MENU”画面に戻ります。

TRAVEL

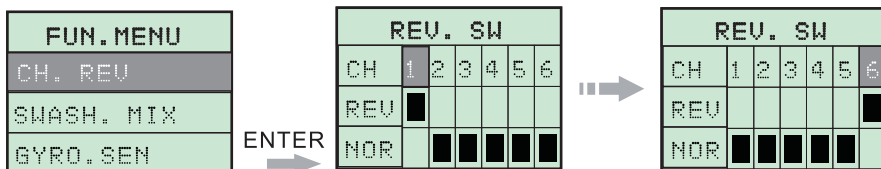
▶ 各チャンネルの動作量（舵角）を設定します。



- 1 “FUN.MENU”から“UP/DOWN”スイッチで“TRAVEL”を選択して“ENTER”スイッチを押して“TRAVEL”モードに入ります。
- 2 “UP/DOWN”スイッチと送信機の左スティックの左右方向で設定するチャンネルを選択して“INC/DEC”スイッチで数値を設定します。
- 3 “EXIT”スイッチを押すと設定が保存されて“FUN.MENU”画面に戻ります。

CH. REV

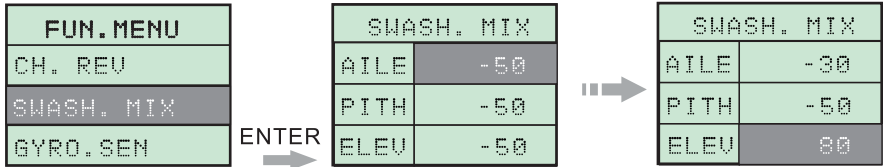
▶ 各チャンネルの動作方向を入れ替え（リバース）します。



- 1 “FUN.MENU”から“UP/DOWN”スイッチで“CH.REV”を選択して“ENTER”スイッチを押して“CH.REV”モードに入ります。
- 2 “UP/DOWN”スイッチで変更するチャンネルを選択して“INC/DEC”スイッチで動作方向を設定します。
- 3 “EXIT”スイッチを押すと設定が保存されて“FUN.MENU”画面に戻ります。

SWASH. MIX

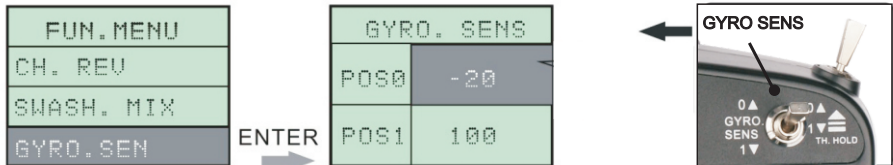
▶ スワッシュミキシング量を設定します。



- 1 “FUN.MENU”から“UP/DOWN”スイッチで“SWASH.MIX”を選択して“ENTER”スイッチを押して“SWASH.MIX”モードに入ります。
- 2 “UP/DOWN”スイッチで変更するチャンネルを選択して“INC/DEC”スイッチでミキシング量を設定します。
- 3 “EXIT”スイッチを押すと設定が保存されて“FUN.MENU”画面に戻ります。

GYRO. SENS

▶ ジャイロの感度を設定します。



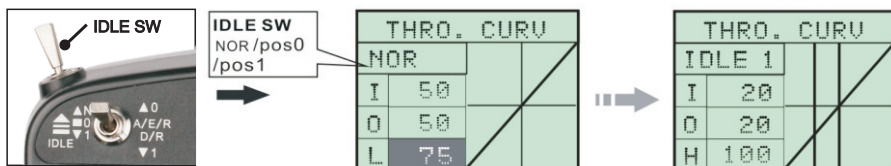
- 1 “FUN.MENU”から“UP/DOWN”スイッチで“GYRO.SENS”を選択して“ENTER”スイッチを押して“GYRO.SENS”モードに入ります。
- 2 送信機のジャイロ感度切り替えスイッチを“0”（POS0）または“1”（POS1）のいずれか設定したい位置にします。
- 3 “INC/DEC”スイッチでそれぞれの位置の感度を設定します。
- 4 “EXIT”スイッチを押すと設定が保存されて“FUN.MENU”画面に戻ります。



▶ FBL80と100では、ジャイロ感度は固定されていてこの機能は使用できません。

THRO. CURV

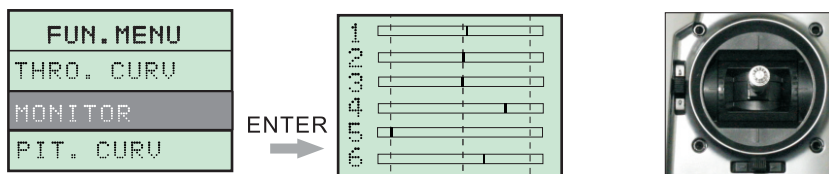
- ▶ スロットルカーブを設定します。
(設定できるスティックポジションはL/1/2/3/Hの5ヶ所です)



- 1 “FUN.MENU”から“UP/DOWN”スイッチで“THRO.CURV”を選択して“ENTER”スイッチを押して“THRO.CURV”モードに入ります。
- 2 送信機のアイドルスイッチの位置を“N”“0”“1”のいずれか設定したい位置にします。
- 3 “UP/DOWN”スイッチで設定を変更したいポジション（L/1/2/3/Hのいずれか）を選択し、“INC/DEC”スイッチでスロットルの量を設定します。
Iは、スロットルスティックの位置を表示。
Oは、スロットルスティックの位置に対するスロットルの量を表示。
- 4 “EXIT”スイッチを押すと設定が保存されて“FUN.MENU”画面に戻ります。

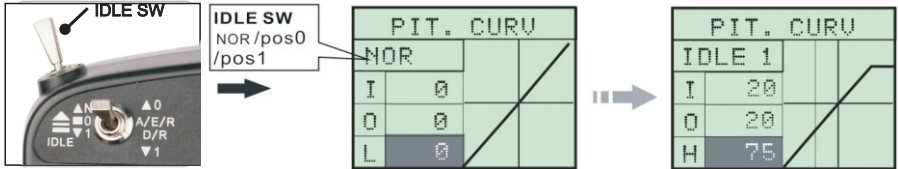
MONITOR

- ▶ 各チャンネルの送信機の操作に対する動作量を表示します。



PIT. CURV

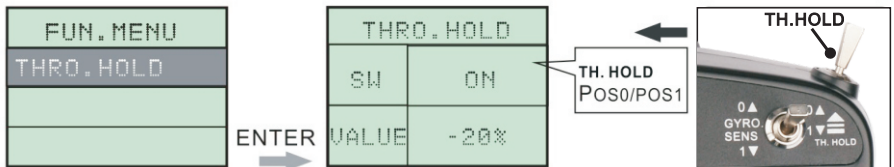
▶ ピッチカーブを設定します。（設定できるスティックポジションはL/1/2/3/Hの5ヶ所です）



- 1 “FUN.MENU”から“UP/DOWN”スイッチで“PIT.CURV”を選択して“ENTER”スイッチを押して“PIT.CURV”モードに入ります。
- 2 送信機のアイドルスイッチの位置を“N”“O”“1”のいずれか設定したい位置にします。
- 3 “UP/DOWN”スイッチで設定を変更したいポジション（L/1/2/3/Hのいずれか）を選択し、“INC/DEC”スイッチでピッチの量を設定します。
- 4 同様に送信機のスロットルホールドスイッチの位置を“1”(ON)にした時のピッチカーブを設定します。
Iは、スロットルスティックの位置を表示。
Oは、スロットルスティックの位置に対するピッチの量を表示。
- 5 “EXIT”スイッチを押すと設定が保存されて“FUN.MENU”画面に戻ります。

THRO. HOLD

▶ スロットルホールド時のスロットル量を設定します。



- 1 “FUN.MENU”から“UP/DOWN”スイッチで“THRO.HOLD”を選択して“ENTER”スイッチを押して“THRO.HOLD”モードに入ります。
- 2 送信機のスロットルホールドスイッチの位置を“O”(OFF)または“1”(ON)のいずれか設定したい位置にします。
- 3 “INC/DEC”スイッチでスロットルの量を設定します。
- 4 “EXIT”スイッチを押すと設定が保存されて“FUN.MENU”画面に戻ります。

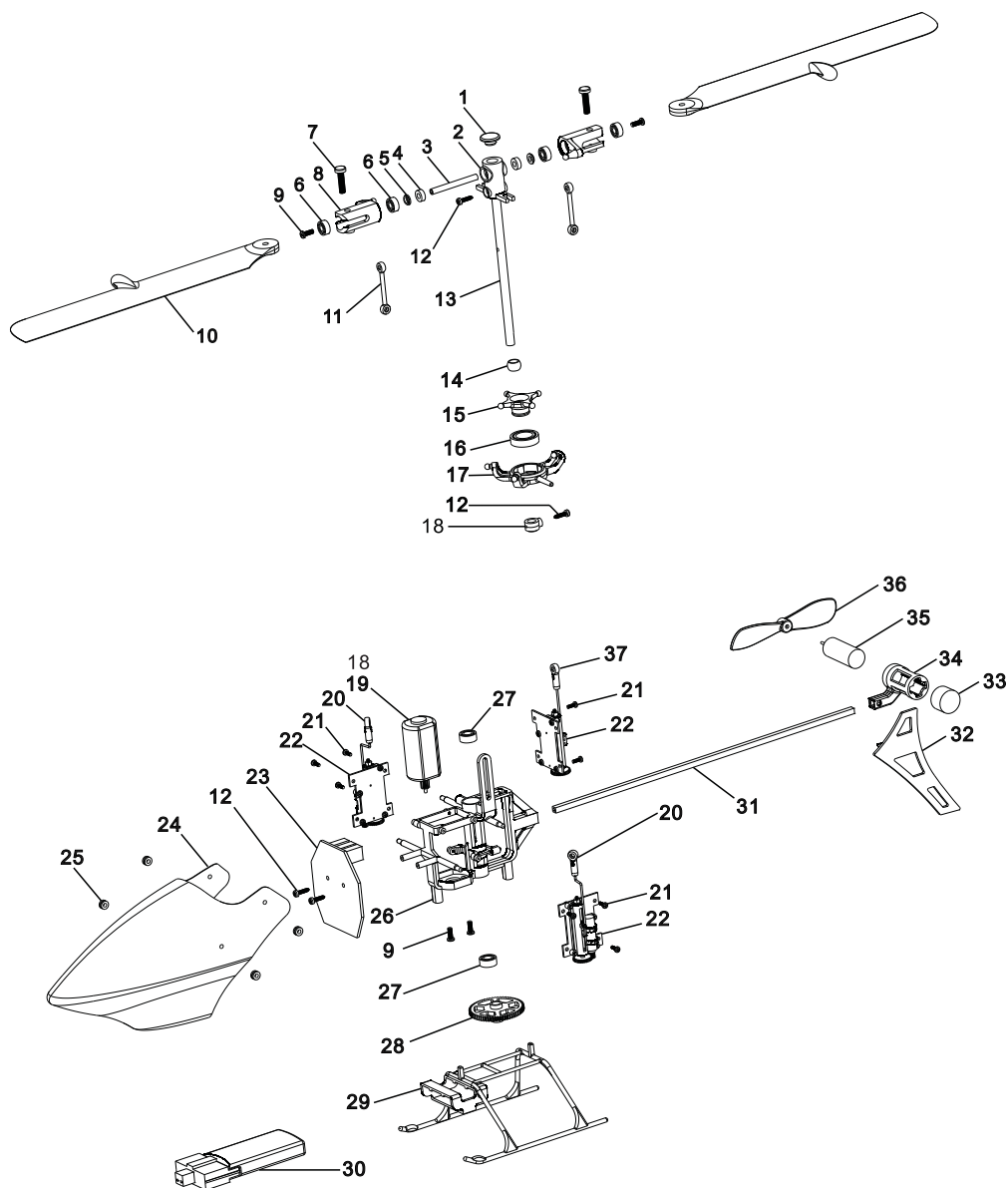
症状	原因	対処
機体にLiPoバッテリーをつないでも、受信機のLEDが点滅して操作が出来ない。	機体が送信機にバインディングされていない。	8ページを参照してバインディングする。 →
機体にLiPoバッテリーをつないでも何も反応しない。	送信機のスイッチが入っていないか、機体のバッテリー残量不足。	送信機のスイッチを確認し、5ページを参考にLiPoバッテリーを正しく充電する。 →
スロットルを上げててもローターが回転せず受信機のLEDが点滅する。	LiPoバッテリーの残量が不足している。	5ページを参考にLiPoバッテリーを正しく充電する。 →
機体にLiPoバッテリーをつなぎとローターが回転し始める。	送信機のスロットルスティックが一番下になっていないか、スロットルトリムがずれている。	送信機のスロットルスティックを一番下に下げる。スロットルトリムを合わせる。 →
スロットルを上げてても機体が離陸しない。	LiPoバッテリーの残量が不足している。	5ページを参考にLiPoバッテリーを正しく充電する。 →
機体が振動する。	ローターが破損したり、マストが曲っている。	壊れた部品を新しい物と交換する。 →
離陸後、機体のコントロールが出来ない。	機体にLiPoバッテリーをつないだ後、水平を保っていない。	機体のLiPoバッテリーを一旦外してもう一度つなぎ、サーボが動き始めるまで水平を保つ。 →
バインディングが出来ない	近くで他のX-6S送信機を使っている。	離れた場所に移動するか、時間をずらす。 →

この他にも飛行場所や時間帯によって電波の到達距離や精度が変化し操縦できなくなる場合があります。
この機な時には、当社ユーザー相談室までご連絡ください。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

分解图



パーツリスト

スペアパーツ

品番	パーツ名	内容	★定価 (税込)
H0015-01	メインローターヘッド (FBL100)	①②⑱ x1	840
H0015-02	メインローターグリップ (FBL100)	⑧ x2	840
H0015-03	グリップベアリングφ2xφ5x2mm(FBL100)	⑥ x4	945
H0015-04	スピンドルシャフト (FBL100)	③⑤⑨ x2	840
H0015-05	ヘッドダンパー (FBL100)	④ x6	420
H0015-06	メインローター (FBL100)	⑩ x2	735
H0015-07	カーボンマスト (FBL100)	⑬ x2	945
H0015-08	ヘッドリンクージ (FBL100)	⑪ x4	525
H0015-09	スワッシュプレート (FBL100)	⑭⑮⑯⑰ x1	1260
H0015-10	スワッシュベアリングφ6xφ10x2.5mm(FBL100)	⑰ x2	525
H0015-11	サーボリンクージ (FBL100)	⑳ x1 ㉔ x2	525
H0015-12	マストベアリングφ3xφ6x2.5mm(FBL100)	㉔ x2	525
H0015-13	メインフレーム (FBL100)	㉔ x1	1050
H0015-14	メインギヤ (FBL100)	㉔ x2	525
H0015-15	スキッド (FBL100)	㉔ x1	525
H0015-16	テールブームセット (FBL100)	㉔㉕㉖㉗㉘ x1	1890
H0015-17	垂直尾翼 (FBL100)	㉔ x1	525
H0012-18	テールローター (FBL80)	㉔ x2	525
H0015-19	メインモーター (FBL100)	⑲ x1 ⑨ x2	1995
H0015-20	スライドサーボ (FBL100)	㉔ x1	2310
H0015-21	レシーバーボード (FBL100)	㉔ x1	8925
H0015-22	ボディ (FBL100)	㉔ x1 ㉔ x4	1050
H0015-23	ピスセット (FBL100)	⑦⑨⑫ x2 ㉔ x5	525
71822	3.7V-300mAh Li-po バッテリー	㉔ x2	2100
72612-1	USB 3.7VLi-Po ツインチャージャー(FBL)		1050
72612-2	USB 充電ケーブル(FBL)		525
72612-3	充電変換ケーブル (FBL100)		525

京商スペアパーツ・オプションパーツの購入方法

※これらの購入方法は日本国内に限らせていただきます



●部品をこわしたり、なくしてしまった場合でもスペアパーツやオプションパーツを 購入し、元どおりに直す事ができます。

●パーツはお店で直接購入していただくか、お店に行けない場合は、インターネットか電話注文で京商から通信販売で購入することができます。

(現金書留及び郵便振込みによる通信販売は平成20年3月31日をもって終了させていただいておりますので予めご了承ください)

●商品のご購入に際しては商品代金(税込)とは別に発送手数料が必要です。

※お支払い方法により発送手数料が異なりますので下記の注文専用電話にてご確認ください。

※お届け予定日数は夏・冬期休業または交通事情等運送上の理由により、遅れる場合がございますのであらかじめご了承ください。

1.まずはお店でお求めください。

まずは、お近くのお店か、この商品をお買い求めいただいたお店にご来店ください。ご希望のパーツの在庫があれば即購入できます。その際に組立/取扱説明書をお持ちになると購入がスムーズになります。



お店で在庫切れの場合でも京商の『オンラインパーツ直送便』※でお店から京商へ申し込みます

お店でご希望のパーツがたまたま品切れだった場合でも、京商の『オンラインパーツ直送便』※を利用すればその場で注文できます。『オンラインパーツ直送便』は、ご希望のパーツの品番や数量等を直接お店にご注文してください。在庫確認後代金をお支払いいただければ結構です。お客様の自宅か、お店にお届けします。

※一部取扱っていないお店もございます。

A: 取扱説明書で必要なパーツの品番と数量を確認する。

B: お店で必要なパーツを注文し代金を支払う。

C: ご注文から約3~4日でお客様の自宅か、お店にお届けします。



オンラインパーツ直送便取扱店はこのステッカーが目印です。



2.お店に行けない場合は 次の方法で京商から通信販売で購入できます。

お店に行けない場合は、京商ホームページ内の京商オンラインショップからお申し込みいただくか、電話注文でお申し込みいただくようになります。

インターネットで京商に申し込む

<http://kyoshoshop-online.com>



KYOSHOホームページ内のインデックスから京商オンラインショップをクリックしていただくか、右記QRコードを携帯で読み込んでいただくと直接サイトにアクセスできます。必要事項を入力のおうえご利用ください。
オンラインショップ(インターネット)でお申し込みの場合は2種類(各社クレジットカード、代引支払い)からお選びいただけますのでご利用ください。



※発送手数料に関しましては下記の、注文専用電話にお問い合わせください。

京商株式会社

〒243-0034 神奈川県厚木市船子153

●お問い合わせはユーザー相談室まで

電話 046-229-4115 受付時間：月～金曜(祝祭日を除く)13:00～19:00

組立や、操作上で不明な点のお問い合わせ方法

これらのサービスは日本国内に限らせて頂きます



組立てたり、操作してみても上手くいかない点などございましたら、ご購入いただいた販売店または、京商ユーザー相談室へお問い合わせください。
京商ユーザー相談室へお問い合わせの際は、お電話いただくか、下記のお問い合わせ用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXまたは郵便でお送りください。

京商へのお問い合わせ先 → 「京商ユーザー相談室」

京商にお問い合わせの際は、「京商ユーザー相談室」にご連絡ください。

お問い合わせの際は、お手元に商品や組立／取扱説明書をご用意のうえ、組立／取扱説明書のページ数、行程番号、部品番号(キーNo.)を用いるなど、なるべく具体的にお知らせください。

電話でのお問い合わせは：**046-229-4115**

電話でのお問い合わせは、月曜～金曜(祝祭日を除く)13:00～19:00。

FAXでのお問い合わせは：**046-229-1501**

FAXでは、24時間お問い合わせの受付をして居ります。回答は、翌営業日以降となる場合があります。営業日:月曜～金曜(祝祭日を除く)

郵便でのお問い合わせは：〒243-0034 神奈川県 厚木市 船子153 京商株式会社 ユーザー相談室宛

----- キリトリ線 -----

お問い合わせ用紙

お問い合わせ用紙は、FAXまたは郵便でお送りください。回答方法は、京商で検討のうえ考慮させて頂きます。

郵送の場合は、お問い合わせ用紙のコピーを保管してください。

品番	No.20015	商品名	FBL100 レディセット			
ご購入店	店名			都道府県	ご購入年月日	平成 年 月 日
			(電話)			
ご使用プロポ	メーカー名	商品名	ご使用の	モーターエンジン		
フリガナ				R/C歴	約 年	
ご氏名						
ご自宅住所	〒 _____ 都道府県					
ご自宅の連絡先	電話 ()			FAX ()		
平日の昼間に可能な連絡先	電話 ()			FAX ()		
月曜～金曜(祝祭日を除く)13:00～19:00で電話連絡可能な時間帯				:	頃	受付No. (京商記入欄)

お問い合わせご記入欄：組立／取扱説明書のページ数や部品番号(キーNo.)を用いるなど、なるべく具体的にご記入ください。



京商ホームページ
www.kyosho.com

メーカー指定の純正部品を使用して
安全にR/Cを楽しみましょう。

京商株式会社

〒243-0034 神奈川県厚木市船子153

●ユーザー相談室直通電話 046-229-4115

お問い合わせは：月曜～金曜(祝祭日を除く)13：00～19：00

32881306-1 PRINTED IN CHINA